

---

# シェゾのアルバイト！？

アニー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

シエゾのアルバイト！？

### 【Zコード】

Z8574U

### 【作者名】

アニー

### 【あらすじ】

シエゾ・ウイグィイは、変た……いや、闇の魔導師である。そんなシエゾは、ある日、あることに困っていた……。

(前)

シェゾ・ウイグイイ、流れるような銀色の髪に蒼い瞳、絵に描いたような顔立ち、そして、闇の剣を持つ闇の魔導師の男である。彼の人生は、14歳の時に一瞬にして変わった。

修学旅行で、男子校の魔導中学校に通う彼は、ラーナの遺跡に来ていた。なんでも、悪の大魔導師ルーンロードが、勇者に倒されたという場所として有名だった。

おどぎ話として、闇の魔導師ラルバが、光の戦士サイバー・キヤットに倒されたというものがある。だから、その勇者は光の勇者であったのかもしれない。

そんな場所で、シェゾは鏡の中から誰かに呼ばれ、そしてそこに近付くと、彼はその鏡の中に魂だけ吸い込まれてしまっていた。そして、彼はルーンロードに闇の種を魂に埋め込まれた影響で、自らその闇の魔導師としての生き方に従うことを決めてしまった。

そんな彼の現在はと言つと……。

「アルル！ お前が欲しい！」

白を基調とした服に身を包むシェゾは、肩に額にルベルクラクという宝石を嵌め込んだ黄色の生物を乗せて、金無垢の瞳に、後ろで結ばれた栗色の髪型を持つ、アルルと呼ばれた少女。そんな少女に、シェゾは何とも誤解を生むような台詞を吐いていた。

「ヘンターリー！ 全く相変わらずキミは……」

「だーつ！ そういう意味ではないっ！」

そのアルルという少女から、シェゾは呆れられていた。そして、

シェゾは言葉が抜けたらしく否定する。

「はいはい分かってるよ。どうせボクの魔力が欲しいんでしょ？」

シェゾは、常にアルルの魔力を狙っている。アルルには強大な魔力がある。初対面の時には牢屋に閉じ込めたものの、失敗した。彼女の実力は底知れなかつた。

経験を見ると、アルルは幼少児からエリートとして育つている。魔導師養成機関の幼稚園を、たつた3年で、卒業試験に合格したのだ。

その幼稚園は、そのアルルの2年前に少年が1人、アルルの翌年に別の少女が1人卒業できたのみ。そんな幼稚園なのだから、実力はあるのは当然だつた。

しかし、シェゾとて強大の威力を誇るアレイアードを代表とした古代魔法を使いこなす。彼も相当な実力があるのに、なぜかアルルには勝つことができないのだ。

しかし、今日は実はシェゾの目的が違つた。

「今日のオレは、お前のお金が欲しいのだ！」

「……は、はあ？」

シェゾに闇の剣を向けてそいつわれ、アルルは首を傾げた。

「闇の魔導師とて、金が必要なものだ」

「やだよ。シェゾもボクのように、ダンジョンの中で魔物を倒して稼げばいいじゃないか！」

アルルの趣味はダンジョン探検。現在は古代魔導学校に通う彼女だが、何もない日はダンジョンで様々なモンスターを戦い、日々鍛えている。そのモンスターはお金を落としてくれるので、それで生活費を稼いでいる。

「あんな、オレのことをジメジメしてカビ臭くてキノコが生えてるとか言つた奴は誰だ！」

シェゾはアルルを指差して怒る。ダンジョンの湿っぽい空気を、その言葉を理由に嫌うシェゾは、最近なかなかダンジョンに行かないようだ。

「……言つたつけ？ とにかく、ボクのお金はカレーの食材に使うからあげれない。……あ、そうだ、シェゾはアルバイトをしてみな

よー」

「アルバイトだと？」

「そう。例えば、ボクやルルーなどの通う学校の中では、マスクド校長先生がアルバイトを募集してるんだ」

アルバイト、働いてお金を稼ぐ方法の一つ。マスクド校長の正体は、魔導世界を統括するような存在であるサタンなのだが、魔力によりカモフラージュされ、誰もその正体を知らない。

正体はともかくマスクド校長は、生徒の学費を助けたり、生活に困る人間助ける為にそういうことをしている。

「お前はしてるのか？」

「ボクはしていないよ。校長先生が、ボクを優秀な生徒の1人として学費免除してくれてるからね」

マスクド校長は、特定の成績優秀な生徒の学費を免除している。アルルはその中の1人である。

「そうか……」

「な、なんでガツカリそうな顔を？ もしかしてボクが気になつてたり……」

アルルは少し戸惑いながらショゾに尋ねた。

「ち、ちっがーう！ お前の魔力が欲しいだけだ！ もういい！

今から全ていただいてやる！」

「ダイアキユート！ ダダイアキユート！ ダダダイアキユート！

「……」

・

「む、無念だ……」

しばらくすると、ショゾはアルルにばたんきゅーさせられた。

「いつもへンタイなんだから……。じゃあ、ボクから言える」とは以上だよ。行こつ、カーくん

「ぐつぐー！」

アルルと、カーケくんと呼ばれた黄色い生物カーバンクルは、シェゾの横を通り過ぎて去つて行つた。

シェゾは思った。本当に、アルルの通う学校で例のバイト、やるしかないのか……と。

しかし、空腹感が凄まじい。だが、飯の為には、仕方がない……。シェゾは決意した。

(前)(後書き)

ふよふよーー 20th発売おめでえええー。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8574u/>

---

シェゾのアルバイト！？

2011年10月5日17時26分発行